

AI問診ソリューション HOPE 今日の問診票 With Current Decision Support

FUJITSU

AI問診と電子カルテが連携し、診療現場の業務効率化を実現

AI問診と電子カルテが連携し、問診入力時の患者取り違え予防や問診業務の効率化など、新たな医療現場を実現します。

【特長・メリット】

AI問診と電子教科書による業務効率化

- AI問診による問診結果から症状や所見、鑑別診断、治療方法などの電子教科書※1を1画面で表示し、初診カルテ作成の工数が削減、診察効率化と質向上をサポートします。
※1 Current Decision Support : プレシジョン社が提供する電子教科書2,000名の著名医師が監修や編集更新に携わった、3,000疾患/700病状の所見/全処方薬の情報を掲載している診療マニュアル
- 医療電子辞典では著名医師2,000名による定期更新で常に最新情報を届けします。
- ユーザ様の環境に合わせ、オンプレミスでの稼働や、柔軟なカスタマイズを実現します。

電子カルテとの連携

- 【患者属性連携】
プレシジョン社 問診票入力時に氏名/性別/年齢をカルテから連携し、患者の取り違えを予防します。
- 【ナビゲーションマップ連携】
電子カルテシステム上からすぐに問診結果を起動することで問診結果と電子教科書を参照可能に。初診カルテの下書きを電子カルテにコピーすることで、さらなるカルテ作成の負荷を実現します。

関連プレスリリース記事

「電子カルテシステムとAI診療支援を連携させた実証実験を開始」

患者が院内タブレットで入力した問診内容をもとに、AIがコロナ禍における医師の診療を支援



プレシジョン社ホームページ



協業事例インタビュー

富士通アクセラレータプログラムでの共創の取り組みを、座談会形式でご紹介します。今回は、2021年6月11日に開催された富士通アクセラレーター第9期DemoDayのイベント参加者アンケートにおいて、「関心のあるスタートアップ」として最も多くの票を得た「株式会社プレシジョン」さんです。



公開サイト

富士通が提供する「新しい患者体験」についてはこちらから >>



お問い合わせ先

富士通Japan株式会社
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町1-5 (JR川崎タワー)



●本製品は医療機器ではありません。